

## フィデンツェ・サルソマッジョーレ (Fidenza/Salsomaggiore)

ヴィゴレーノ観光だけでは半日も足りないくらいなので、通過地点である温泉で有名なサルソマッジョーレとローマ時代の幹線道路 **Francigena** 街道が通るフィデンツェに寄ってきました。

サルソマッジョーレはフィデンツェから列車で7分のところにありますが、サルソマッジョーレの駅は如何にも伝統ある温泉地の駅らしくお客さんを歓迎してくれます。街はフィデンツェとは全く違い自然に囲まれた丘陵地帯にあり、街中を川が流れ温泉地としてのムードが漂っています。



サルソマッジョーレは、その名前のように天然塩の産地で、地下 2000 メートルから掘られる温泉にはミネラルを豊富に含んだ天然塩が海の 5 倍も含まれているそうです。健康や美容に良いとのこと  
で化粧品としても売られています。この直ぐ北にサルソミノーレという街もありますので、そこは塩  
の量が少ないのでしょうか。サルソマッジョーレには 2 つの大きな温泉がありますが、「世界で最も  
美しい温泉」として有名なベルツィエーリ温泉は駅からちょっと離れています。駅前には静かで駅の近  
くには、既に閉鎖している昔の大きな鄙びた温泉ホテルがありました。その先を曲がると急に賑やか  
な高級なお店が並んだメイン道路となり、まるで大きな街のメイン道路のように人通りも多く車も忙  
しく走っています。メイン道路の先にあるベルツィエーリ温泉は、一時代前の宮殿よりももっと素晴  
らしい大きな建物で、有名な伝統ある温泉としての威風を感じます。なるほど、世界一かもしれない  
と感じてしまいます。この建物はこんなに大きいのに宿泊設備はなく温泉設備だけだそうです。建物の  
近くにサルソマッジョーレのドゥオモがあり、その先には、こちらにも伝統がありそうな大きな高級  
ホテルがありました。お金持ちが長期滞在して温泉を楽しむような街なのですね。



ヴィゴレーノからタクシーでサルソマッジョーレの駅まで戻ると、直ぐにフィデンツェ行きの列車が待っていました。サルソマッジョーレとフィデンツェ間の列車は、結構頻繁に走っているようです。料金も1ユーロと格安です。実は、タクシーの運ちゃんにフィデンツェまで行ってほしいとお願いしたのですが、運ちゃんから、“列車は本数も多いし、タクシーだと20ユーロもかかるから列車のほうがいいよ”と言われて、列車に乗ることにしたら、本当に運ちゃんの言うとおりでした。今日のタクシーの運ちゃんもあたりでした。フィデンツェの街の通りは、隣のパルマの延長のような感じです。昔のFrancigena街道の上にある現在のメイン道路はブランド店が並び人も多くてパルマにいるような感覚になってきました。メイン通りの中間くらいに大きな広場があり、そこにあるコミュニネ宮殿（14世紀建造）の前にメリーゴーランドが出来ていて、たくさんの方が集まっていました。



更にメイン通りを進むと、中世の城塔（ポルタ・サン・ドンニーノ 14世紀建造）があり、その奥に、フィデンツェで最も有名なドゥオモ（12世紀）があります。ロマネスク建築の大きくて立派な教会で、ローマ時代のパルマ出身殉教者 San Donnino di Fidenza に捧げられています。古くからこの地はFrancigena街道の代表的な経由地となっていたようです。このドゥオモはパルマのドゥオモに形も大きさも良く似ていますが、中はシンプルでパルマのようなフレスコ画はありません。但し、入口の彫刻が非常に見事で思わず見とれて写真を撮りっぱい撮ってしまいました。この有名なドゥオモには博物館が併設されています。フィデンツェの観光スポットは、ドゥオモがメインで、他にコミュニネ宮殿、中世の城塔となります。従って、観光の面ではパルマの足元にも及びません。パルマのような美術館もないようです。また、食べ物も有名なものはありません。要するに、フィデンツェはパルマ

の一部みたいな街ですね。



フィデンツェからミラノへの直通列車は1-2時間に1本ありますが、その間に、ボローニャーピアチェンツァ間の普通列車があります。その列車に乗ってピアチェンツァまで行くとミラノへの列車に連絡していますので、ほとんど待ち時間なくミラノまで行く事が出来ます。フィデンツァからミラノまでの料金は7.2ユーロです。直通列車なら1時間15分、ピアチェンツァ乗り継ぎでも1時間半でロゴレドまで到着します。このロゴレドからボローニャまでの区間はジェノヴァ方面に比べて本数も多く、所要時間も短いので列車旅行が非常に楽です。